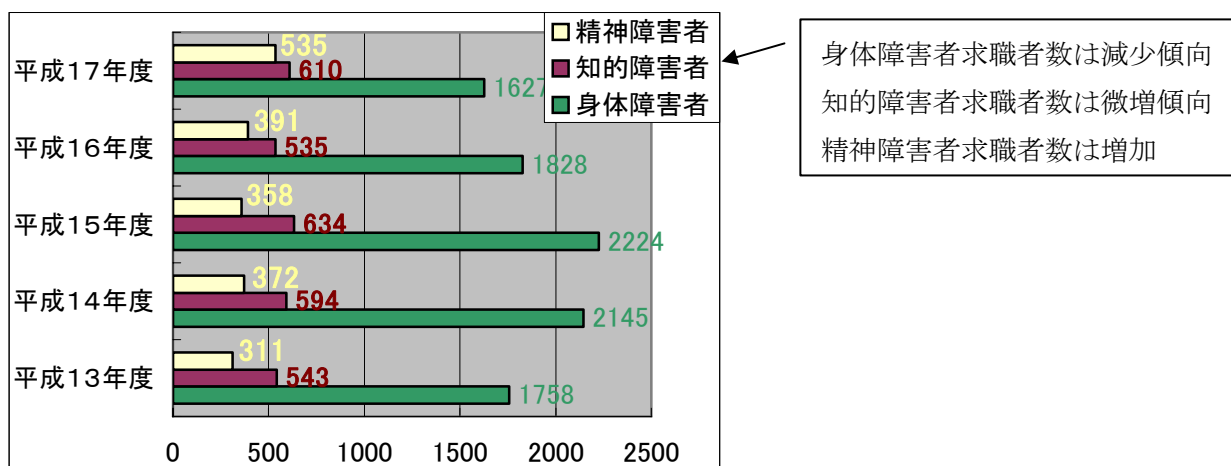


3. ハローワーク松江

障害者求職者数の推移



●下がる障害者雇用率

	障害者雇用率	雇用率達成企業の割合
H17年度	1.87%	49.1%
H16年度	1.88%	50.6%
H15年度	2.02%	52.4%

●就職したくてもできない

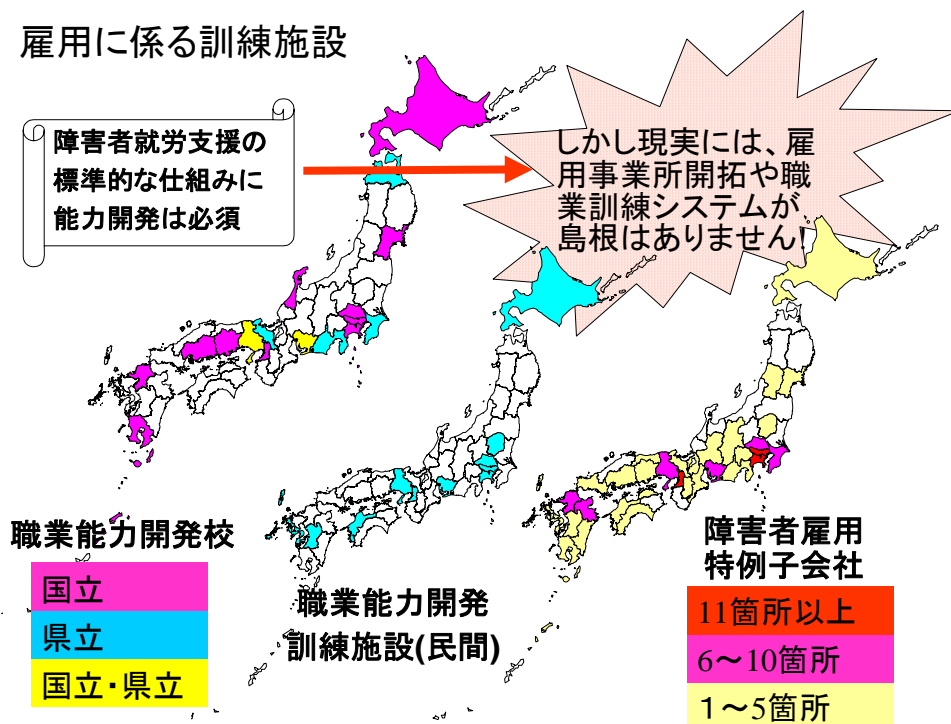
平成16年度末の有効求職者 2,754人

+

平成17年度新規求職者 236人

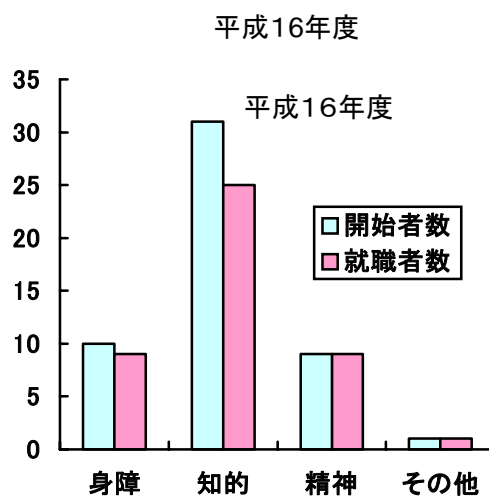
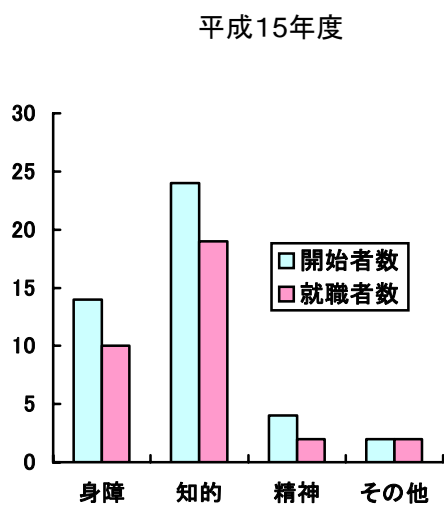
平成17年度就職件数133件

雇用に係る訓練施設

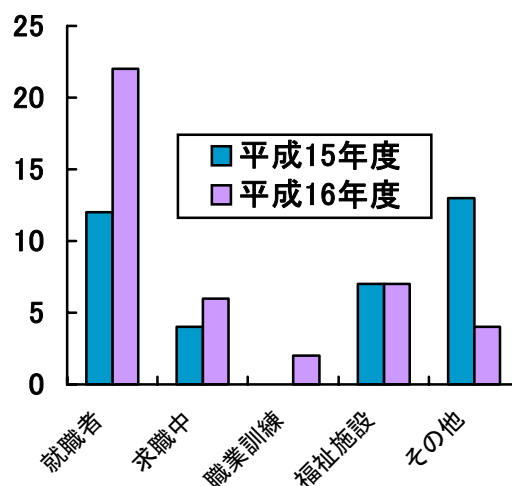
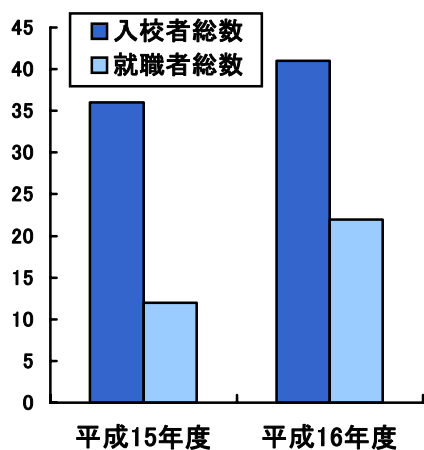
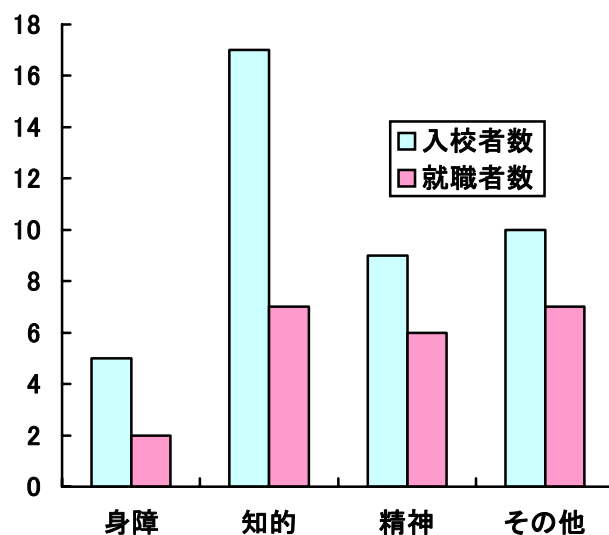
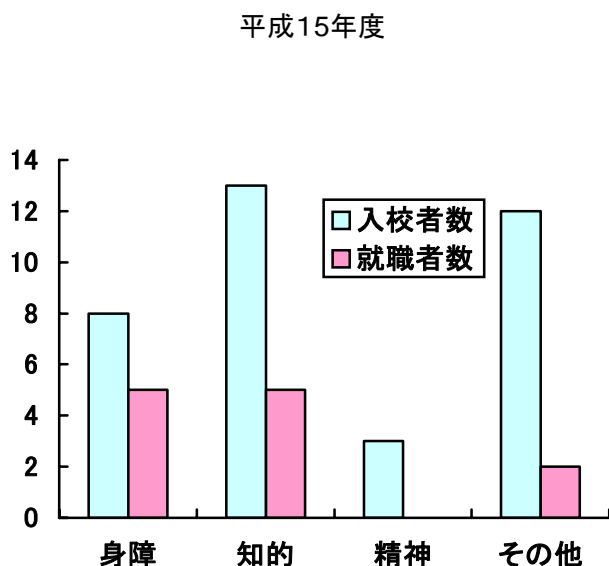


4. 島根障害者職業センターの実績

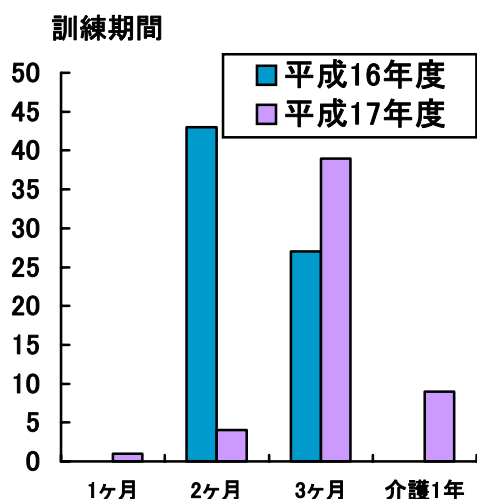
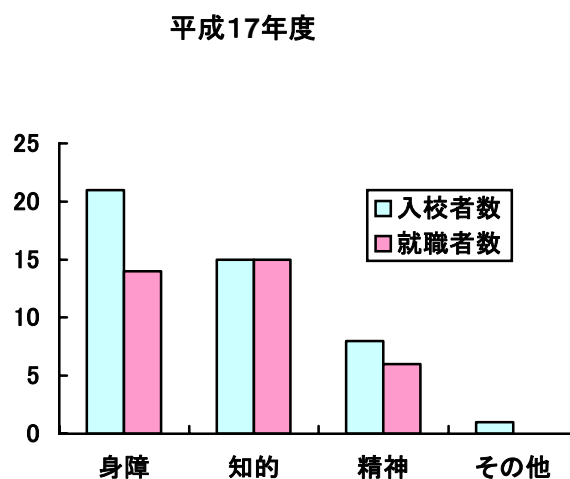
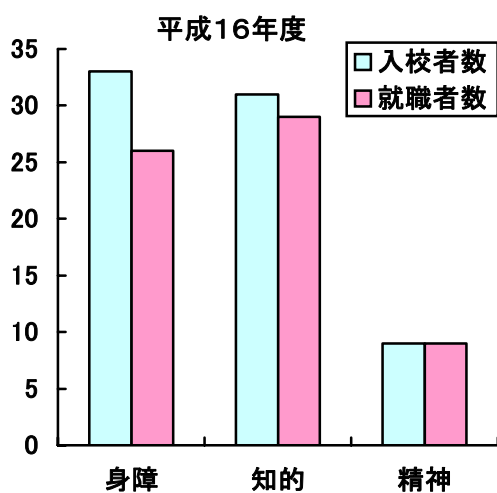
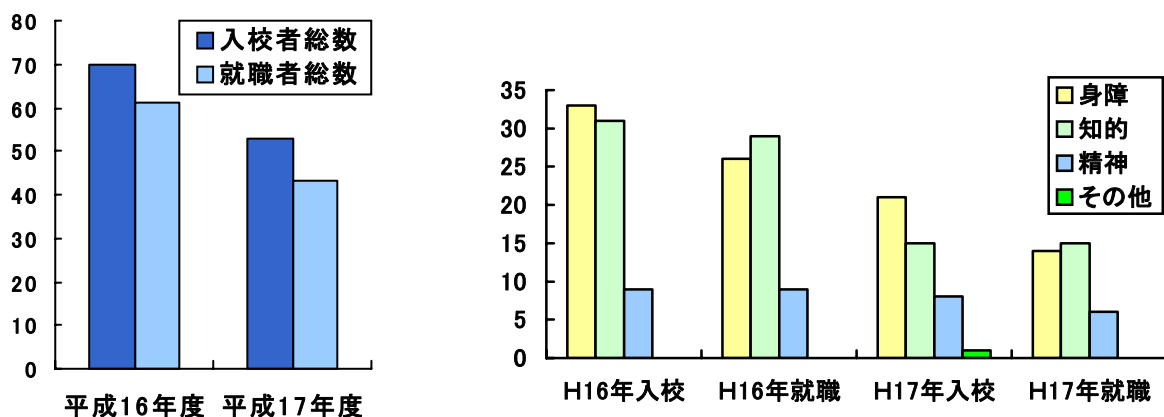
ジョブコーチ支援事業



職業準備支援事業



5. 高等技術校を活用した能力開発委託訓練事業の実績

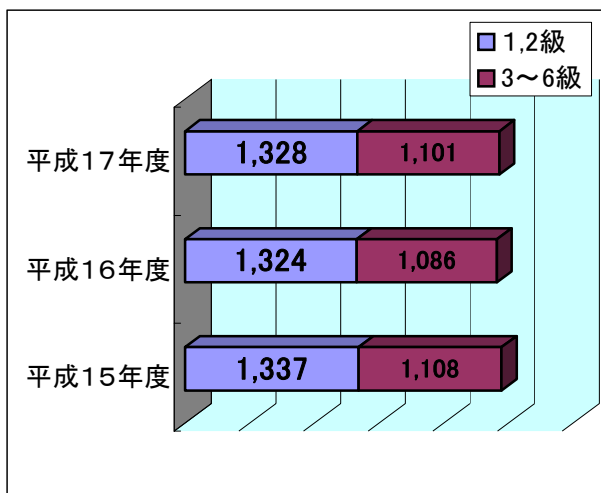


6. 松江市の状況

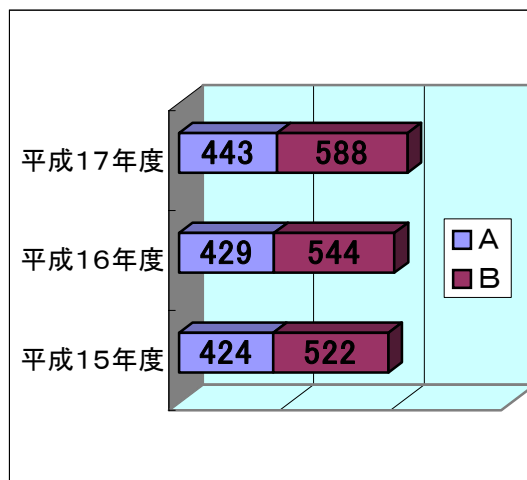
人口：約19万6千人 障害者数：12,800人(H17.3.31現在)

松江市における障害者数の推移

身体障害者(18歳～65歳)

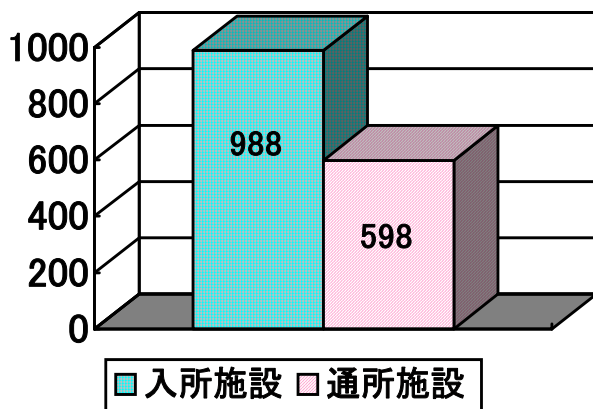


知的障害者(18歳～65歳)

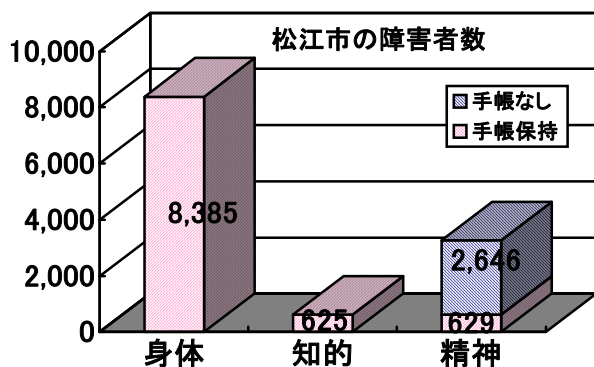
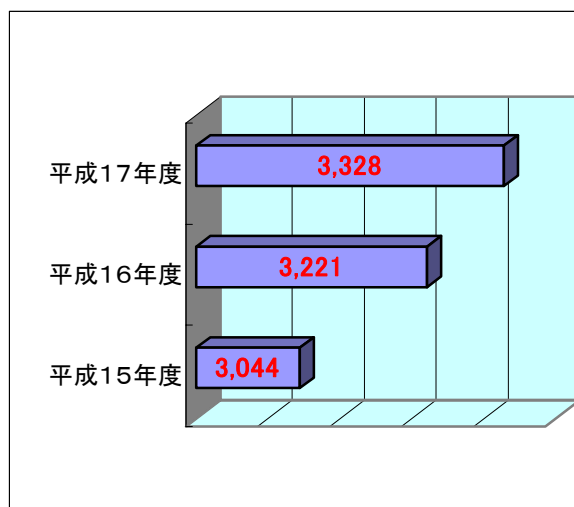


精神障害者手帳発行数(20歳～65歳)

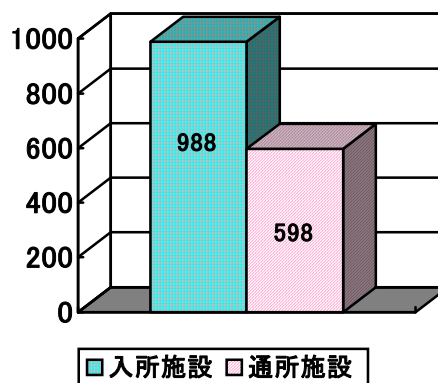
松江市内の施設利用者



精神通院公費負担者数

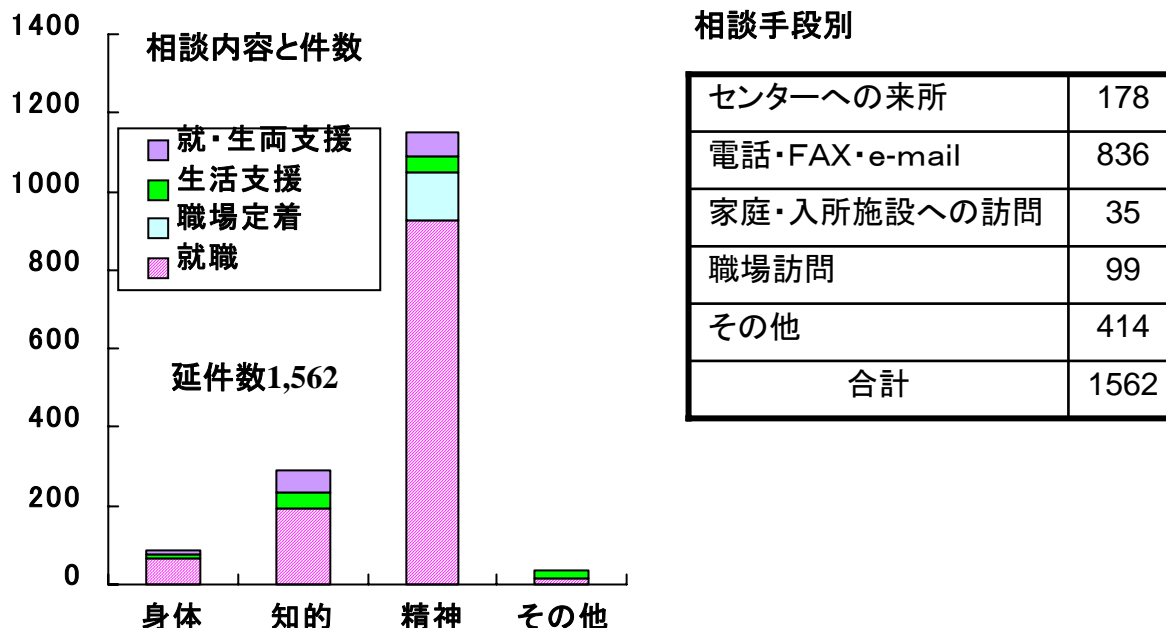


松江市内の施設利用者



7. 松江就業・生活支援センターの状況：平成17年4月1日事業開始

① 平成17年度実績



就業支援時に利用した制度

	身体	知的	精神	その他	合計
職場適応訓練	1	0	0	0	1
短期職場適応訓練	0	0	0	0	0
委託訓練	0	0	2	0	2
ジョブコーチ	1	0	3	0	4
トライアル雇用	0	0	4	0	4
社会適応訓練事業	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

平成17年度就業・生活支援センターの課題

▶開設から1年が経過したが、周知の方法が関係機関中心となっており、企業へのアプローチへの方法を作り上げる必要性を感じている。

▶相談件数はあるものの、企業開拓や障害者の職業能力開発が進まず、就労に繋がるケースが増えない。

▶就業・生活支援センターは、その規定において就労件数が毎年10件以上継続しないと、指定を取り消される。施策・制度が整い始めるまで、島根県のような人口の少ない地方と、大企業の集中している大都市と同じ指定基準であり、弾力性がないと地方の就業・生活支援センターは厳しい。

▶地域からの相談は多いが、他施設からの相談はまだ少数にとどまっている。施設との連携を深め、施設から就労への流れを作る仕組みを構築する必要がある。→ケース会議等を頻繁に開催し、情報交換・共有が求められる。